

股関節の手術を受けられる方へ

◆ 私たちは、入院生活や治療が順調に進むように下記の計画に基づき援助します。

お名前		様		主治医			受持ち看護師	
日付	入院当日（手術前日）	手術当日(術前)	手術当日(術後)	術後1日目	術後2日目	術後4日目～	術後6日目～	術後14日目
目標・退院基準	入院生活について理解ができる 手術の内容について理解できる	安心して手術を受けることができる	全身の状態が安定して 疼痛が軽減する 脱臼の症状がない 手術の合併症がなく経過する		疼痛が軽減する 脱臼の症状がない リハビリを開始できる 手術の合併症なく経過する		転倒せず、歩行練習ができる 日常生活の注意点が理解できる	退院後の生活の注意点について理解出来る
検査	(採血があります)		採血をします。 必要に応じて輸血をします	採血をします。 必要に応じて輸血をします			採血とレントゲンがあります（1週間毎に あります）	
処置	手術する足に印をつけます		酸素マスクをつけます（翌朝まで）				1週間から10日でガーゼが取れます	
			足に血栓予防のフットポンプを付けます	車椅子移乗開始後、フットポンプを外します				
注射		午後からの手術の方は、点滴を入れます	点滴が入っています	食事が半分以上食べられれば、点滴は終了です				
			化膿止めの点滴を行います					
			胸のところから、痛みどめを入れます		痛み止めの管を抜きます			
内服薬	薬を確認しますので、入院時に薬とお薬手帳をご持参ください	麻酔科医の指示で薬を飲むことがあります		内服薬を再開します	血栓予防の薬を飲みます (術後9日目まで)			
	薬の内容によっては、一時中断していただくことがあります。 再開時は医師の指示があります			痛み止めの内服が始まります				
	飲んでいるお薬をお預かりします							
食事	普通食（治療食）がです	食事はとらないでください		朝から食事（粥食）を食べることが出来ます	状態に応じて普通食（治療食）に変更します			
	夕食以降は食べないで下さい							
飲水制限	水分は麻酔科医の指示に従ってください	水分は麻酔科医の指示に従ってください	水分は病室に戻って3時間後からとることが出来ます					
活動	安静度	制限はありません	ベッドの頭側を90度まで上げることができます	体調が良ければ車椅子に乗れます	ベッドから離れて、車椅子で過ごす時間を増やしましょう		病状に応じて、歩行器や杖歩行の練習が始まります	
		杖やシルバーカーを使用している方は、入院時にご持参ください	脱臼予防のため、看護師が体の向きを変えます					
	排泄	手術室に入る前に、排尿を済ませて下さい	尿の管が入ります	尿の管を抜きます	傷の状態に応じてシャワー浴が許可されます。 看護師が介助します（介助シャワー3回/週）			
	清潔	シャワー浴をします。 時間は看護師とご相談ください		体拭きと着替えを行います 看護師が介助します				
教育説明 その他	看護師が入院生活に関する事や、手術前後のスケジュールについて説明を行います	浴衣に着替えて下さい	医師から術後に説明があります。 血栓ができないよう、足首を動かしてください	車椅子乗車が始まります。 安全に移動出来るようになるまで、看護師が付き添います	手術中の所見によって、全荷重 (手術した足に全体重をかけること)を開始します			術後2週間を目安に退院（または転院）になります
	麻酔科医の診察、手術室看護師の訪問があります	両足に血栓予防のストッキングを履いてください	手術した足のしびれや感覚の鈍さが強くなる時や、息苦しい時、吐き気が辛い時は、看護師にお知らせ下さい					退院が近くなったら、退院指導を行いません（パンフレット参照）
	リハビリテーションがあります	眼鏡、コンタクトレンズ、時計、指輪、入れ歯などを外して下さい	脱臼の危険があるので、体の向きを変えたい時は、看護師を呼んで下さい（許可があるまで）					
備考	10時と17時に検温があります	6時に検温があります	体温、血圧などを時間で測定します	6時,10時,14時,19時に検温があります	2日目以降リハ室での訓練が開始になります 歩行練習 寝返りやうつぶせ 脱臼肢位を回避した動作練習 可動域訓練、筋力訓練 自主トレーニング	10時と19時に検温があります	手術した方を下にして寝る練習 日常生活動作の指導 (家族指導も含む) ホームエクササイズ指導	

この説明用紙は、治療のおおよその経過をお知らせするものです。状態に応じて予定が変更になることがあります。

ご不明な点がございましたら、お気軽におたずねください。